

<p>【技術の名称】 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR295、JBCR385」</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第23-31号 性能証明発効日：2024年2月22日</p> <p>【取得者】 JFE スチール株式会社</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR295」（以下、JBCR295）、建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR385」（以下、JBCR385）の設計、施工に係る諸規定を定めたものである。JBCR295 は BCR295 に対して増厚させた（最大 28mm）ロールコラムであり、JBCR385 は BCR295 に対して強度を上昇させた（F 値=385N/mm²）ロールコラムである。これらの鋼材は、材料としての性能・溶接施工等の検討を行い、大臣認定を取得している。さらに、部材実験の結果から BCR295 と同等の変形性能を保有していることを確認している。

【技術開発の趣旨】

本技術は、新しい板厚や強度グレードの冷間ロール成形角形鋼管として開発された材料を用いた建築物の設計、施工法であり、平成 19 年国土交通省告示第 593 号第 1、平成 19 年国土交通省告示第 594 号第 4 および昭和 55 年建設省告示第 1791 号第 2 において、ロール成形その他断面のすべてを冷間成形により加工したものについて指定される設計上の付加事項を定めている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR295、JBCR385」設計・施工指針」に従って設計・施工された建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR295、JBCR385」は、建築構造用冷間ロール成形角形鋼管（BCR295）と同等以上の性能を有する。

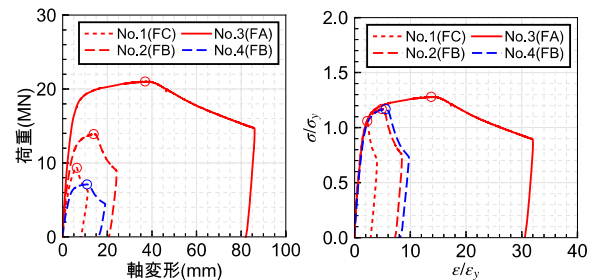
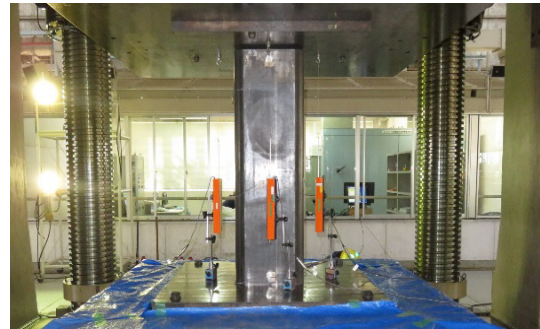


図-1 短柱圧縮試験 (JBCR385)

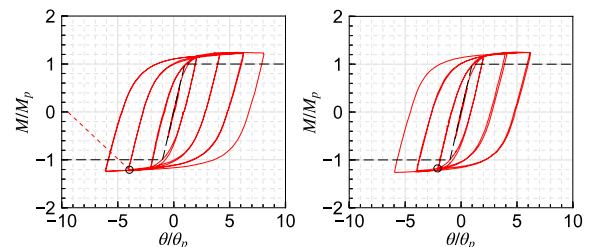
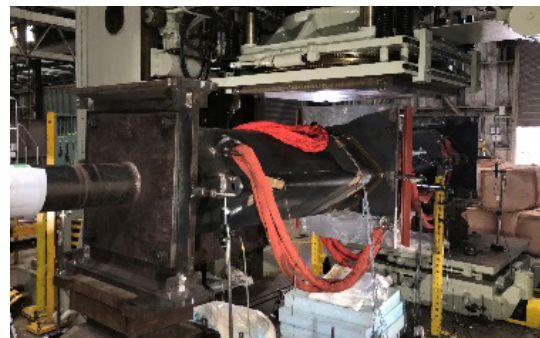


図-2 曲げ試験
 (左：JBCR295 右：JBCR385)

【本技術の問合せ先】

JFE スチール株式会社 担当者：金城 陽介
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号

E-mail : y-kaneshiro@jfe-steel.co.jp
 TEL : 03-3597-4129 FAX : 03-3579-3825